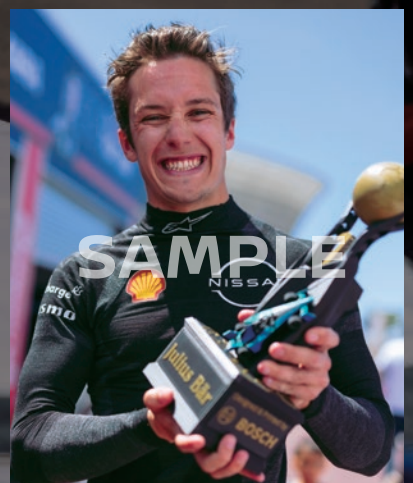


NISMO Communication Magazine **N-BLOOD** 2023 / APRIL No.98 Nissan Motorsports & Customizing Co., Ltd.



SAMPLE



N-BLOOD
NISMO Communication Magazine

N-BLOOD

NISMO Communication Magazine
2023 / April
No. **98**

nismo

Produced by Nissan Motorsports & Customizing Co., Ltd.

桜咲く、未来へ

SUPER GTやスーパー耐久シリーズよりも
ひと足先に新たなシーズンが開幕したフォーミュラE世界選手権
体制を一新して臨む日産フォーミュラEチームは
第5戦南アフリカで今季初のポールポジションを獲得する速さを発揮
表彰台の頂点で満開の桜が咲く日も遠くはないはずだ

SAMPLE

- 4 **2023 NISSAN MOTORSPORTS PROGRAMS**
さらなる栄光の年に
- 6 **2023 NISSAN MOTORSPORTS PROGRAMS**
日産／NISMO 2023年
モータースポーツ活動概要
- 8 **SUPER GT SPECIAL INTERVIEW**
松村基宏
能力のすべてを結集し2年連続チャンピオンへ
- 12 **SUPER GT SPECIAL TALK SESSION**
星野一義×星野一樹
“ゼッケン1”の名に懸けて
- 15 **SUPER GT GT500 TEAMS**
国内最高峰カテゴリを戦う
ドライバーたちの「今季への意気込み」
- 16 **NEW FACE INTERVIEW**
名取鉄平
22歳の“新風”に期待
- 18 **FORMULA E SPECIAL INTERVIEW**
イアン・ジェームズ
ふたつのチームの相乗効果
- 20 **FIA FORMULA E WORLD CHAMPIONSHIP**
Gen3シャシー導入のシーズン9
南アフリカでフェネストラズが
初ポールポジション獲得
- 22 **2023 PIRELLI GT4 AMERICA**
激戦区に挑むNissan Z GT4
- 24 **MOTORSPORTS**
Paddock TOPICS
- 26 **LEGEND SHOP REPORT**
日産／NISMO レジェンドが興したショップを訪れて
オートスポーツイワセ
- 28 **NISMO LEGEND CARS**
サニー JTCC (HB14)
ツーリングカーの名車再び
- 30 **2023 SUPER TAIKYU SERIES**
日産／NISMOと共に戦うチームの
ガレージを訪ねて—HELM MOTORSPORTS
- 32 **CLUB NISMO**
オーナーズインタビュー
NISSAN GT-R NISMO編
- 34 **EVENT REPORT**
あらためて実感した“日産クラシック”の価値
- 36 **CLUB NISMO EVENT REPORT**
2019年以來の会社見学ツアーを開催
- 38 **NISSAN/NISMO COLLABORATION GOODS**
EIDOLON / go slow caravan
- 39 **PRESENT**
読者プレゼント

2023 NISSAN MOTORSPORTS PROGRAMS

さらなる栄光の年に

2023日産モータースポーツファンイベント開催でファンとレース魂を分かち合う

日産/NISMOファン待望のモータースポーツ発表会が今年もオンラインで開催
奇しくも2023年は、日産に縁深い「23」というメモリアルイヤー
登壇した首脳陣の勝利に懸けるこだわりも、なおさら強く感じられた



2023日産モータースポーツ
ファンイベントの様子は
こちらでチェック

今年もオンラインで開催 各チームのドライバー／監督が集結

日産自動車／日産モータースポーツ&カスタマイズ (NMC) は2月19日に日産グローバル本社ギャラリーの日産ホールにて恒例のファンイベント「2023日産モータースポーツファンイベント」を開催しました。このイベントは、日頃から日産のモータースポーツを応援してくださっているファンの皆様楽しんでいただくために、毎年2月に開催されており、今年もオンラインでたくさんのファンの方々に視聴していただきました。

イベントは2部構成で行われましたが、まず第1部では冒頭に日産自動車株式会社のアシュワニ・グプタ取締役、代表執行役最高執行責任 (COO) がビデオメッセージで登場。グプタCOOは昨年のSUPER GTにおける素晴らしい成果を次のように振り返りました。

「日産/NMCにとって、2022年は大変嬉しい年になりました。ワークスチームの主戦場となるSUPER GT GT500クラスでは、2008年から14年間にわたり、単一モデルとしては記録となる通算41勝を挙げたNISSAN GT-R NISMO



ビデオメッセージで登場したグプタCOO。Nissan Zデビューイヤーでのチャンピオン獲得を喜び、今年もレースでの勝利を約束した。

GT500に代わり、新開発のNissan Z GT500へとバトンタッチしました。予想されていたように目が離せない争いとなり、チャンピオンの行方は最終戦までもつれ込みました。激闘の末、デビュー年に#12 Nissan Z GT500がシリーズ優勝、#3 Nissan Z GT500がシリーズ2位を獲得できました。

SUPER GTシリーズの前身の2004年全日本GT選手権 (JGTC) においてR34 GT-Rからバトンを引き継ぎ、鮮烈なデビューを果たしたZ33のように、NISMOによって開発されたGT500仕様のNissan Zは再び不屈の挑戦と勝

利にこだわるレガシーを証明するかのよう鮮烈なデビューを果たすことができました」

またグプタCOOは今年からGen3マシンに移行したABB FIA フォーミュラE世界選手権にも日産ワークスチームとして参戦すること、そしてGen3パワートレインをマクラーレンに供給することを合わせて表明しています。

「私たちは2025-26年のシーズン12まで長期に渡るフォーミュラE世界選手権参戦のコミットメントを表明しました。100%電動駆動の世界選手権に参戦し、日産の電動化へのコミットメントを明確にするとともに、電気自動車ならではのワクワクする爽快な走りや運転する喜びをさらに広めていきたいと考えています。今年新たに誕生した「日産フォーミュラEチーム」は、よりパワフルで速いGen3マシンで世界選手権へ挑んでいきます。日産のGen3パワートレインの競争力は高く、マクラーレンチームにも採用いただ

いています。レース技術の市販車への転用を開始し、技術競争の厳しいフォーミュラE世界選手権を活用して、日産の電気自動車の魅力をよりいっそう引き上げられる数々の技術を投入していきます」

そして、次のように今シーズンへの抱負を語り締めくくりました。
「日産はより速く、より安全で、そして楽しいクルマを今後も数多く提供し、人々の暮らしをより豊かにしていきたいという熱い情熱を持っています。この情熱に突き動かされて、今後もSUPER GTやフォーミュラEをはじめとするモータースポーツ活動を通じて、より多くのワクワクとスピードを追い求めてまいります。勝利を目指して戦います！」

続いて、NMCの片桐隆夫代表取締役社長兼最高経営責任者 (CEO) が会場にて登壇。2023年度の活動内容を報告するとともに、以下のように意気込みを語りました。

「私たちは今シーズンもレース・トウ・ウインの精神で常に勝利を目指してチャレンジしてまいります。コロナに対する規制にも変化が見られます。今年はチャンスがあれば、サーキットで我々の活動をぜひ生でご覧いただき、応援していただければと願っています。今シーズンもファンの皆様ワクワクするレースをお見せできるよう、参加するすべてのカテゴリーに全力で取り組んでまいります。今シーズンも応援、ご支援をどうぞ、よろしくお願いたします」

その後はSUPER GTのGT500、GT300、スー



片桐CEOは今シーズンの体制発表と抱負をあらためて語るとともに、今年もNISMO FESTIVALを開催したいという意向を表明した。

パー耐久シリーズ2023に挑むドライバーと監督が一堂に登壇。松村基宏 SUPER GT 日産系チーム総監督が代表して挨拶を行いました。
「2023年につきましては、カーボンニュートラル燃料への対応などの難しいチャレンジもありますが、全チームが優勝を飾りながら最終戦でシリーズチャンピオンを争うような、チーム全員が一丸となってファンの皆様にワクワクしてもらるようにレースを展開してまいりますので、引き続きの応援、支援をよろしくお願いたします」

注目のトークショーでは 本音の掛け合いも

続いて第2部では、まずフォーミュラEに参戦する日産フォーミュラEチームの紹介から始まり、ドライバーや桜をモチーフとしたニューカラーリングが披露されました。その後、ドライバーや監督の本音が聞けるファン待望のトークショーが展開され、SUPER GTのGT300スタッフが集まった『カスタマーレーシングプログラムトークショー』では、昨年強さを発揮したKONDO Racingの近藤真彦監督が「これまで開幕戦は過去2連覇していますので、3連覇して今シーズンもシリーズチャンピオンを目指します」と言うと、ゲイナーの藤井一三監督は「昨年は強いKONDO Racingの前でフィニッシュしなければというのがあって、最終戦であのようなレースになってしまいましたけど、今年も打倒KONDO Racingを掲げていきたい。それがチャンピオンにもつながりますから」と意欲を燃やしていました。

盛り上がりを見せる後半では、さらにGT500クラスのトークショーで近藤監督が「2023年は23で日産イヤー、絶対なんとかしなければいけない年」と言えばNDPP RACINGの千代勝正選手が「ウチの島田 (次郎) 監督は今年就任23年



昨年のGT500クラス王者、TEAM IMPULでは、星野一樹が監督に就任。一義監督は総監督として全体を見守る立場となった。

目ですよ」と返し、島田監督が「いや、そんなに監督はやっていないですよ。レース業界にはいつて23年目です」と笑いを誘っていました。ゼッケン23を掲げるNISMOの中島健監督も「100年に一度の23号車のシーズンを楽しみます」と今シーズンがとりわけ特別な年であることを確認しあっていました。

松村総監督は、「どのチームが勝ってもおかしくないようなクルマとチーム体制を敷いて準備をしてまいりました。お互いいいレースをしながら切磋琢磨して競いあうわけですが、各チームが皆優勝をしたりポイントを獲得していくことがライバルとレースを戦ううえで非常に重要なことです。どのチームも優勝を目指して頑張るために、NMCとしては全力で支援をするという考え方であります」とコメントしました。そして最後に、いつも日産を応援してくれるファンに向けての感謝の言葉で締めくくりました。

「開幕戦の岡山は寒いシーズンからスタートしますので色々な不確定要素がありますが、ぜひ寒い中でも暑い中でも、サーキットでドライバーの熱い走りを見て、応援して、楽しんでいただけたらという思いです。いつも応援の旗を振ってくださっている応援団の方たちの声援を受けて、ドライバーがどれだけ勇気づけられているでしょうか。今年も全チーム全力で戦ってまいりますので、よろしくお願いたします」



今シーズン日産/NISMOでレースを戦う面々が集結
チャンピオンシップ連覇への意欲を示した